2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報

科目名(英)	スポーツリテラシーⅤ（Sports Literacy Ⅴ ）		
ナンバリングコード	E30707	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル スポーツビジネス
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュコース		
授業コード	E001601	クラス名	－
担当教員名	竹田　隆行		
履修上の注意、履修条件	手ぶらで授業に出席しないこと。他の科目を履修していなくても、この科目だけで理解できる内容になっています。 必ず講義後はノート整理を行ってください（復習）。 スポーツ組織のマネジメントについて学びます。スポーツに対しては、各人がそれぞれのこだわり、考え方を持っていますが、そこから新しい考えは生まれてきません。ゼロベースで物事を考える重要性を学んでもらいたい。		
教科書	スポーツ集団のマネジメント（ぎょうせい）		
参考文献及び指定図書	スポーツに学ぶチームマネジメント（ダイヤモンド社）、スポーツチームの知識創造（スキージャーナル）		
関連科目	スポーツビジネス・マネジメント概論、スポーツ経営学、スポーツリテラシーⅣ		

○成績評価の指標 / ○成績評価基準（合計100点）

到達目標の観点	到達目標	テスト（期末試験・中間確認等）	提出物（レポート・作品等）	無形成果（発表・その他）
【関心・意欲・態度】	スポーツ組織でのマネジメントに必要な知識や倫理観を身に付けるとともに、目的意識を持って自発的に学習する能力を身につける。	10点		
【知識・理解】	スポーツ組織での専門的・実践的知識を習得し、それらを総合・活用して問題解決を図るリテラシーを身につける。	70点		
【技能・表現・コミュニケーション】				
【思考・判断・創造】	変容する社会において、多角的に考察・分析し、スポーツ組織での現場で課題解決できるマネジメント能力を活かし、新たな価値創造にチャレンジする能力を身につける。	20点		

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）

[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

最終授業時に全体向けにフィードバックを行う。

○授業の目的・概要等

授業の目的	私たちは、日常生活の中で、多くの集団や組織にあるいは社会に所属し、かかわりを持ちながら生活をしています。現在、スポーツ活動の場は広がりつつあります。一人で行うスポーツもありますが、集団で行われることの方が多く見られます。集団で行われるスポーツには、必ず組織的な活動や役割分担があります。 本講義では、草の根レベル、企業レベルについて事例をあげながら、スポーツ組織の活動や役割を理解します。習得した知識をビジネスの場で適応、応用できる技術として身につけることを目的とします。	
授業の概要	スポーツ組織のマネジメントについて学びます。組織の事業活動が機能するためには、マネジメントが必要になります。スポーツ組織においても例外ではありません。スポーツ組織における事例をもとにマネジメントの必要性を理解します。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「該当しない」
	（3）アクティブ・ラーニング	該当なし
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	スポーツリテラシーⅤを担当する教員（竹田隆行）は、社団法人スポーツ産業団体連合会（現：公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会）在職中に、スポーツイベントのマネジメントやスポーツビジネス講座の開講、スポーツに関する調査事業を担当。在職中に得たマネジメントの知識や経験を活かして、スポーツ組織について説明をしています。日本体育学会（体育経営管理専門領域）、日本体育・スポーツ経営学会に所属。	

○その他

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 ： スポーツリテラシーⅤ（Sports Literacy Ⅴ ）　授業コード：E001601
担当教員： 竹田　隆行

学修内容

1. ○第1回　組織について
組織とは何かを説明します。組織が機能するためには、マネジメントも必要ですが、その前に理念（ミッション、ビジョン）があるかどうかです。なぜ必要なのかを理解します。

予習： ユニパに講義資料をアップしています。各自で資料を確認してください。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。（約2.0h）

2. ○第2回　マネジメントについて
組織は、掲げた理念を達成するために事業活動を行います。組織が事業活動によって、生産性を上げるためにマネジメントが必要なことを理解します。

予習： 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。（約2.0h）

3. ○第3回　スポーツ組織について
スポーツ組織について説明します。スポーツ組織においても、単なる目標ではなく、理念（ミッション、ビジョン）が必要なことを学びます。

予習： 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。（約2.0h）

4. ○第4回　スポーツ組織のマネジメントについて
スポーツ組織は、理念（ミッション、ビジョン）達成するために事業を行ういます。その事業を円滑にすすめる手段としてマネジメントが必要なことを学びます。

予習： 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。（約2.0h）

5. ○第5回　役割分担と相互調整について
スポーツ組織が機能的に活動するためには、役割分担とその相互調整が必要なことを説明します。組織の仕組みづくりについて学びます。

予習： 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。（約2.0h）

6. ○第6回　スポーツ組織のステークホルダーについて
スポーツ組織とステークホルダーについて学びます。スポーツ組織の多くは、内側のステークホルダーとの関係を重視しますが、外側のステークホルダーをあまり意識しないことを説明します。

予習： 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。（約2.0h）

7. ○第7回　イノベーションについて
スポーツ組織は、イノベーション（新たな価値創造）が起こせないことを説明します。スポーツ組織は伝統を重視しますが、それが変革の足かせになっていることを理解します。

予習： 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。（約2.0h）

8. ○第8回　意欲のマネジメントについて
組織の生産性を上げるためには、個の能力をあげる必要があります。個の能力を上げるためには意欲の向上が不可欠であることを学びます。

予習： 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。（約2.0h）

○授業計画　科 目 名 ： スポーツリテラシーⅤ（Sports Literacy Ⅴ ）　授業コード：E001601
担当教員： 竹田　隆行

学修内容

9. ○第9回　報酬とその価値について
プロスポーツは報酬を得ることを目的に行っていますが、他のスポーツ活動において報酬を得るために努力を行っていることを説明します。報酬とその価値によって意欲が高まることを理解します。

予習： 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。（約2.0h）

10. ○第10回　意欲の高さに基づく正しい努力について
がむしゃらに努力を行っても結果は出ません。意欲が高いと正しい努力を行って成果を上げ、報酬を得られる可能性が高まることを理解します。

予習： 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。（約2.0h）

11. ○第11回　満足度と所属意識の関係について
報酬を得ることによって、満足度が高まることを説明します。満足度が高まると人は、組織に対しての所属意識が高まり生産性が上がることを理解します。

予習： 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。（約2.0h）

12. ○第12回　内的な報酬と外的な報酬によって
報酬には、内的な報酬と外的な報酬があることを説明します。その報酬の価値観は、経験値によって人それぞれ異なることを理解します。

予習： 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。（約2.0h）

13. ○第13回　スポーツ組織のリーダーについて
スポーツ組織が機能していくためのは、マネジメントも必要であるがリーダーの役割が非常に大きいことを理解する。リーダーのタイプを2つのパターンに分けて説明します。

予習： 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。（約2.0h）

14. ○第14回　PDCAサイクルについて
スポーツ組織においてもPDCAサイクルは重要であることを説明します。特に、評価、改善をしっかり行うことが次の計画に反映されることを理解します。

予習： 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。（約2.0h）

15. ○第15回　スポーツ組織の成果について
スポーツ組織を大きく分けると、スポーツ活動を主とする組織、ビジネスを主とする組織があります。同じスポーツ組織でも、組織によって求める成果が異なることを理解します。

予習： 前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。（約2.0h）
復習： 講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。（約2.0h）

16. 期末試験
これまでの講義内容を試験範囲とします。試験時間は60分とします。

予習：
復習：